

CI-NET 相互運用性試験手順書

1. はじめに

1.1 目的

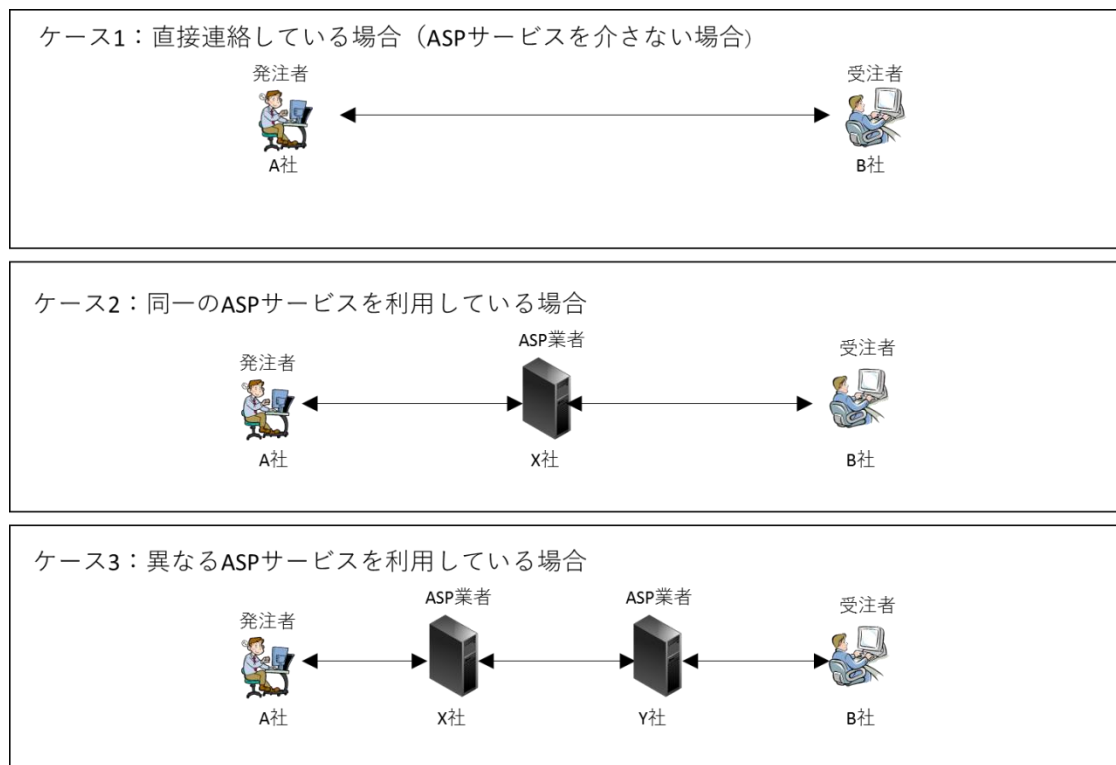
CI-NET 相互運用性試験は、新規 CI-NET サービス開発業者および既存ベンダ（数社）間の送受信テストにおいて、各メッセージが実装規約に準拠された形式で適切に疎通可能であることを検証するために行う。

1.2 基本的な考え方

CI-NET LiteS 実装規約に準拠した ASP サービスで行う EDI においては、メッセージのやり取りの方法として、下記に示す 3 ケースがなされている。

そこで、相互運用性試験では、ケースごとの試験を行う必要がある。そのため、既にサービスを提供している ASP ベンダの協力の基、試験を実施する。

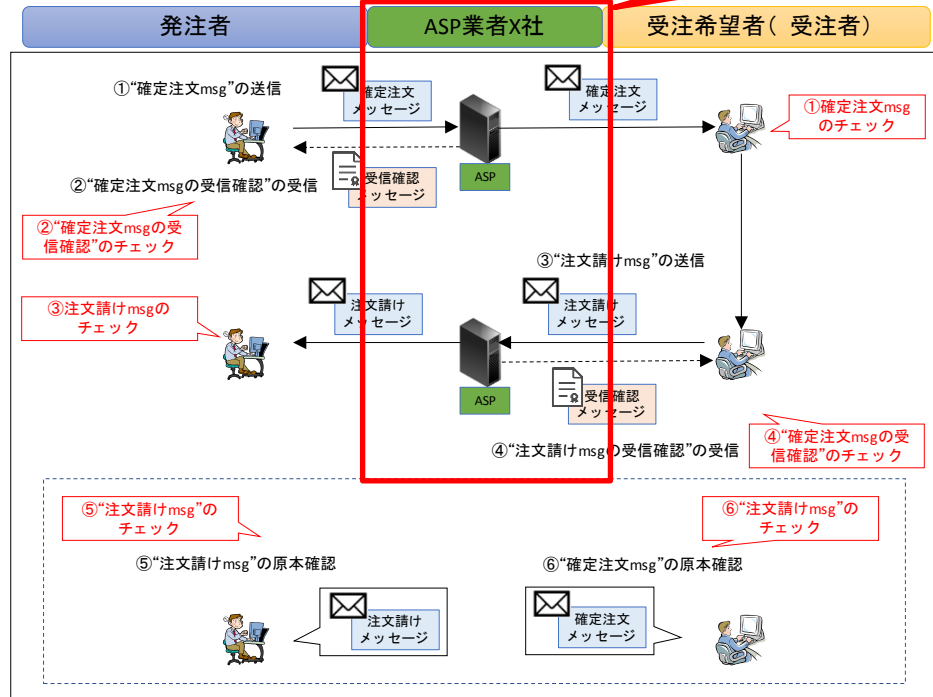
<想定ケース>



上記、想定ケースの内、ケース 2 およびケース 3 の詳細なメッセージのやり取りの場面を以降に示す。

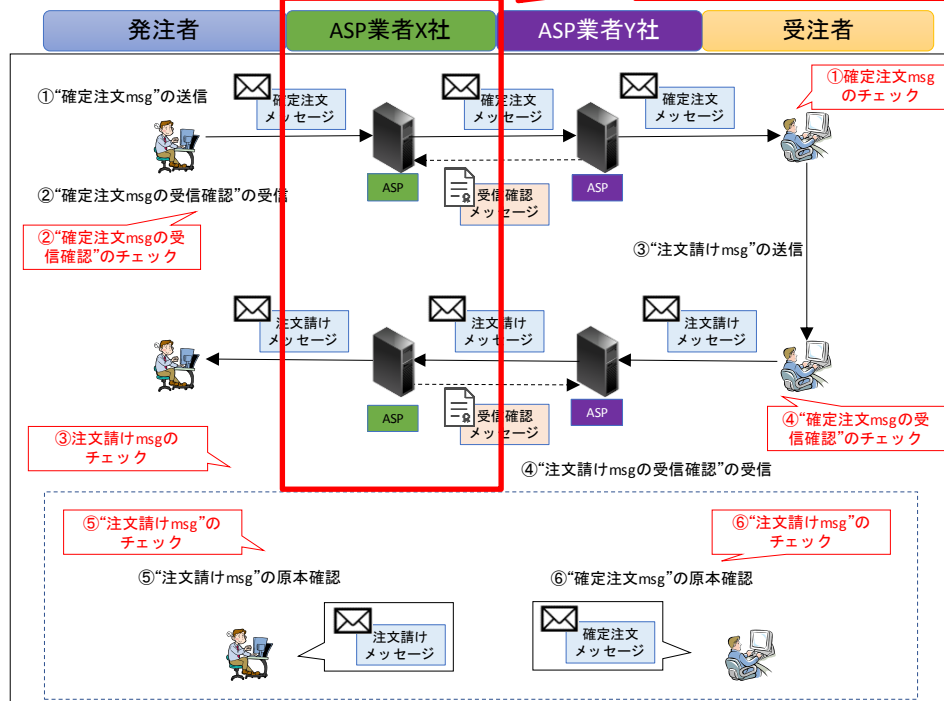
＜ケース 2: 同一の ASP サービスを利用している場合＞

新規参入サービス



＜ケース 3: 異なる ASP サービスを利用している場合＞

新規参入サービス



「CI-NET LiteS 実装規約 指針・参考資料」に、どのような環境であっても EDI が可能という基本方針を提示しており、CI-NET 対応のための ASP サービスに係る指針が示されている。指針では CI-NET LiteS 対応ソフト利用企業が ASP サービス利用企業と EDI を行う場合と、ASP サービス利用企業が自社利用の ASP とは異なる ASP のサービス利用企業との間で EDI を行う場合にわけて実装規約を記述している。

1.3 当試験の対象

(1) メッセージの範囲

システムに実装するメッセージを対象として実施する。

<実装規約に定義されているメッセージ>

業務フェーズ	メッセージ名
見積業務	建築見積依頼メッセージ 建築見積回答メッセージ 設備見積依頼メッセージ 設備見積回答メッセージ 設備機器見積依頼メッセージ 設備機器見積回答メッセージ
購買見積業務	購買見積依頼メッセージ 購買見積回答メッセージ 見積不採用通知メッセージ
注文業務	確定注文メッセージ 注文請けメッセージ 鑑項目合意変更申込メッセージ 鑑項目合意変更承諾メッセージ 合意解除申込メッセージ 合意解除承諾メッセージ 一方的解除通知メッセージ 合意打切申込メッセージ 合意打切承諾メッセージ 一方的打切通知メッセージ
納入業務	工事物件案内メッセージ
出来高業務 立替業務 支払業務	出来高要請メッセージ 出来高報告メッセージ 出来高確認メッセージ 立替金報告メッセージ 立替金確認メッセージ 請求メッセージ 請求確認メッセージ 支払通知メッセージ 工事請負契約外請求メッセージ 工事請負契約外請求確認メッセージ
その他	今後実装規約の変更で追加される項目を含む

(2) 項目確認の範囲

新規 CI-NET サービス開発業者および既存ベンダ（数社）の ASP 間で基本的な情報が適切に受け渡せているかを確認する。

- ・ メッセージグループヘッダへのセット情報
- ・ メッセージ本文へのセット情報
- ・ 署名（証明書情報）
- ・ 暗号化/復号
- ・ トランスレータ結果
- ・ 見読性の確認と原本の確認

2. 実施方法

下記に示す実施方法を参考として、相互運用性試験を実施する。

- ① 適合性試験の承認を受けた後、事務局に相互運用性試験を依頼する。
- ② 事務局から依頼を受けた既存ベンダおよび新規 CI-NET サービス開発業者の ASP 間で、実装規約に準拠したメッセージの送受信が可能か検証する。
- ③ 見読性と原本の確認を行うため、送受信したメッセージの添付ファイルをビューワソフトに取り込み、適切に表示されるか確認する。

※ビューワソフトでは、CI-NET LiteS 実装規約 指針・参考資料に記載の保管管理システムから取り出される電磁的記録(エクスポート・ファイル)を閲覧できること。

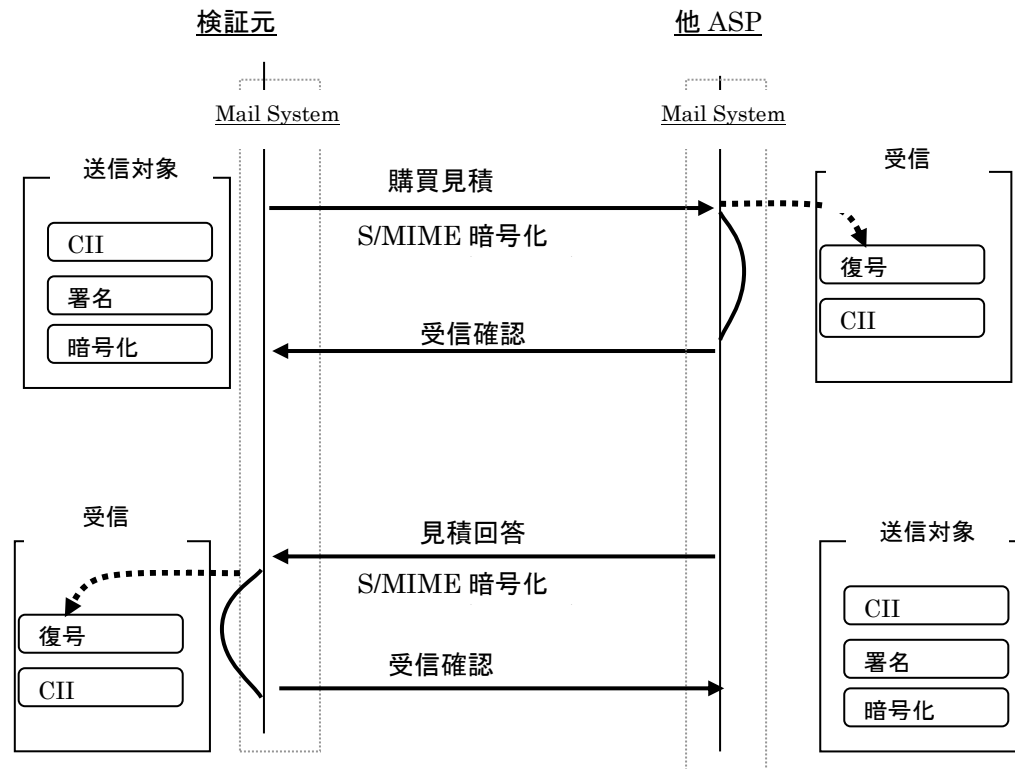
- ④ 各メッセージで実施した検証結果を、「相互運用性試験チェックシート」に記載する。チェックシートの記載方法は以下のとおり。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">i. メッセージの送受信後、メッセージにセットされているデータ項目が、チェックリストに記載されている定義に則しているか確認ii. 不適切なデータ項目となっている場合、不適切となったコード No を記録iii. 不適切なデータ項目が生じなくなるまで、試験を実施 |
|---|

- ⑤ ②～④を 1 社以上の既存ベンダと実施する。
- ⑥ 検証結果を、情報化評議会に報告して、CI-NET 規約準拠の CI-NET サービスとして、認可を受ける。

3. テストシナリオ

(1) テストイメージ（購買見積依頼、見積回答）



(2) テスト分類

下記(A)から(D)パターンに基づきテストを実施する

(A)技術情報の有無によるパターンテスト

(A-1) 技術情報 無し(0個)

(A-2) 技術情報 有り(1個)

(B)ファイル数、種類パターン

(B-1) 単一ファイル

(B-2) 複数ファイル

(C)メッセージ件数パターン

(C-1)メッセージ件数 1件 (数 KB 相当)

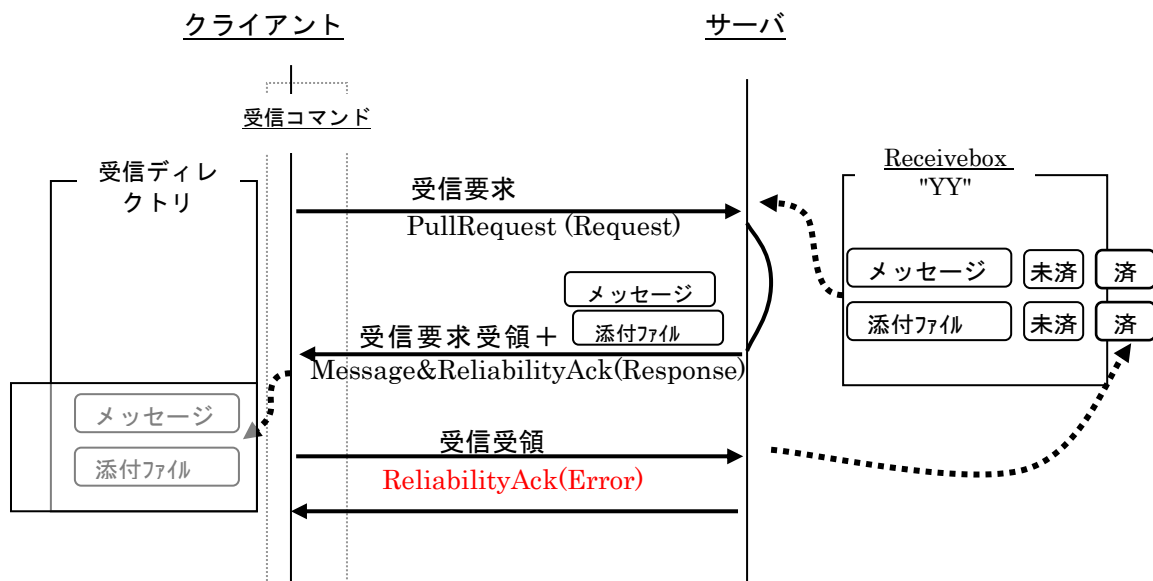
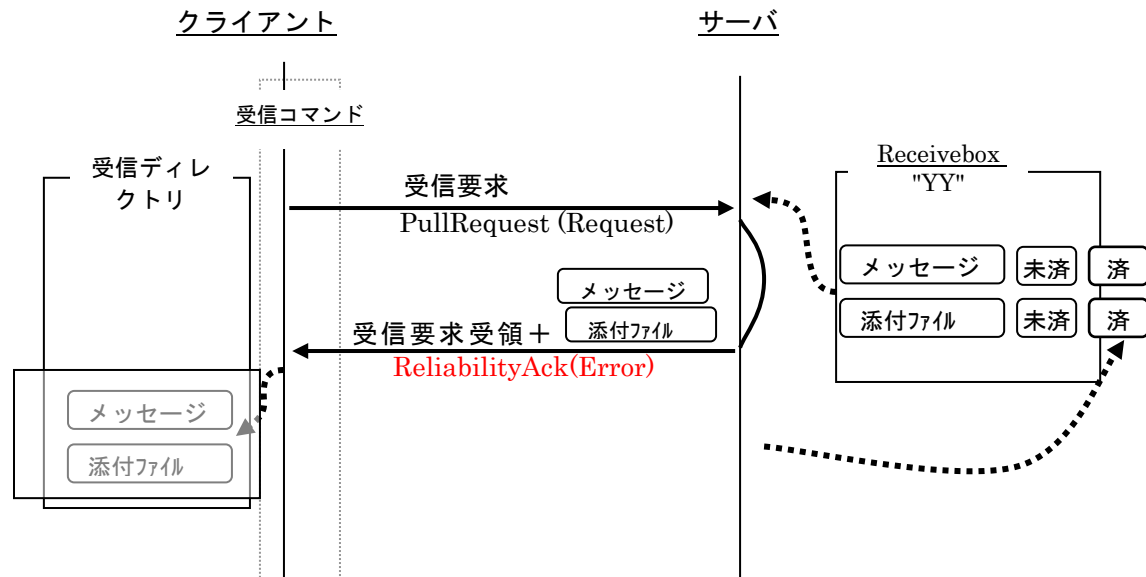
(C-2)メッセージ件数 N 件 (数 MB 相当)

(D)エラーケースのテスト

(D-1)メッセージ件数 不正データなし

(D-2)メッセージ件数 不正データあり

GetMessage(ダウンロード)



以上